SONY

4-438-863-**02**(1)

ビデオベビーモニター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2012 Sony Corporation Printed in China

* 4 4 3 8 8 6 3 0 2 * (1)

NTM-V1

⚠警告 安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラ（送信機）や受信機、ACアダプターの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら ➡ ❶ 電源を切る ❷ 電源プラグをコンセントから抜く ❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

本紙面の右側にソニーの相談窓口の連絡先があります。

警告表示の意味
この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠警告
この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意
この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号
火災　感電　注意

行為を禁止する記号
禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号
指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、**極めて危険な状況**が起こり、その結果**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生します。

窒息危険

お子様の手の届かないところ（1 m以上推奨）に、電源コードを設置してください。電源コードに絡み、窒息するおそれがあります。
電源コードのラベルをはすさないでください。
コードの巻きつきによる窒息を防ぐために、以下の点にご注意ください。

- カメラや電源コードをお子様の手の届くところに置かないでください。
- カメラや電源コードをベビーベッドやベビーサークルに取り付けないでください。
- カメラの電源コードは付属のコードクリップで壁に固定してください。
- ACアダプターに延長コードを使わないでください。付属されているACアダプターのみをお使いください。

⚠警告

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届く場所に置かない
内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、付属のコードクリップなどは、幼児が飲み込むおそれがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

付属のACアダプター以外は使用しない
火災や感電の原因となることがあります

⚠注意

ぬれた手で電源プラグをさわらない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない
火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

不安定な場所に設置しない
ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する
電源コードは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

通電中の本機やACアダプターに長時間触れない
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く
長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

本体内部の部品をさわらない
機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない
落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない
液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードをACアダプターに巻き付けない
断線や故障の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない
本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

ワイヤレス機能ご使用上のご注意

⚠警告

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離して使用する
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは本機を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本機の使用を中止する
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内では本機を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品の使用に関するご注意
本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止し（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH8

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は80 m以下です。

お使いになる前に必ずお読みください

安全上のご注意

- コンセントにつなぐときは、付属のACアダプターをお使いください。それ以外のアダプターは使わないでください。
- カメラは、お子様の手の届かないところ（1 m以上推奨）に設置してください。
- 万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ACアダプターについて
- 電源プラグは、容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、速やかにコンセントから抜いてください。
- 本機の電源を切っても、電源コンセントにつながれている間は通電されています。
- 長時間使わないときは、カメラと受信機の両方の電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機についてご不明なことがある場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

使用上のご注意

お子様は保護者が責任をもって見守ってください。本機は補助としてお使いください。お子様の具合が悪いときなどは、受信機の画面だけで見るのではなく、直接お子様の様子にご注意ください。

- 本機は、防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機をぬれた手で触るなどで、ぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
- 本機に衝撃を与えないでください。

使用／設置してはいけない場所
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所、熱機器の近くなどには置かないでください。変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

通信について
- カメラから約2 m ～ 3 mの範囲内でお子様の声や物音が検出されます。この範囲外では音を検出できないことがあります。
- カメラと受信機の通信範囲は100 m（見通しの良い場所での直線通信距離）までです。設置時およびその後も定期的に通信範囲と条件を確認してください。
- 受信機は、スピーカーからの音が聞こえるように近くに置いてください。また、定期的に音量を確認してください。
- 無線LAN機器、コードレス電話、電子レンジなど、本機と同一の周波数帯（2.4 GHz）の機器の近くで使うと、その影響により、通信範囲が短くなったり、画像が乱れたりすることがあります。
- アンテナの近くに金属類があると、その影響により、画像が乱れることがあります。アンテナに金属類を近づけないでください。

持ち運びについて
アンテナを持って持ち運びしないでください。

お手入れについて
- レンズやセンサー部をきれいにする。
レンズやセンサー部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。
- 表面をきれいにする。
水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり、塗装がはげたりすることがあるので、以下にご注意ください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類は、ご使用にならないでください。
  – 上記が手についたまま本機を扱わないでください。
  – ゴムやビニール製品との長時間の接触は、避けてください。

結露について
本機を寒いところから急に暖かいところへ持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、再度の点検と、ホームページのサポート情報を確認してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理にお出しになるときは、どちらか一方に不具合があると思われる場合も、必ずカメラと受信機の両方をお持ちください。

画像も音も出ない
- 電源プラグがコンセントから外れている。
- 受信機の内蔵バッテリーが消耗している。

➡ 受信機をACアダプターに接続してください。

雑音がする・画像が乱れる
- 受信機がカメラから遠すぎる。
- 2.4 GHzの他機器（電子レンジ、無線LAN機器、Bluetooth機器など）からの影響を受けている。

➡ 他機器の電源を切る、または他機器と本機を離してください。

受信しにくい
- 電波の到達距離は、見通しの良い場所での直線通信距離で100 mですが、壁や家具などの障害物が受信機とカメラの間にあると電波の到達距離は短くなります。

➡ 受信機とカメラが近くなるように、設置場所を変更してください。

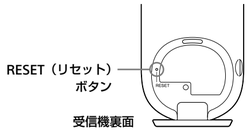
ハウリング音がする
- 受信機がカメラに近すぎる。
- 受信機のスピーカー音量設定が大きすぎる。

警告音が鳴る
- カメラが置かれている場所の温度が、設定したアラーム温度の範囲外である。

➡「警告音について」をご覧になり、アラーム温度を設定してください。
- 受信機の内蔵バッテリーが消耗している。

➡ 受信機をACアダプターに接続してください。
- カメラの電源が入っていない。
- 受信機がカメラから遠すぎる。

ボタンを押しても操作できない
- 受信機裏面（ベルトクリップを開いたところ）にあるRESET（リセット）ボタンを押してリセットしてください。RESET（リセット）ボタンはピンなどの先の細い棒で押してください。



主な仕様

周波数：デジタル2.4 GHz
通信距離：100 m（見通し直線距離）

カメラ
レンズ：
焦点距離　35 mm換算値 F = 38 mm
F値　F2.8
画角　61.5°
解像度：640×480画素
電源電圧：ACアダプター（DC IN 5 V端子）AC 120 V, 60 Hz
外形寸法：
約92.7 mm × 130.1 mm × 92.6 mm（幅/高さ/奥行き）
突起部とアンテナを含む
重量：約124 g
消費電力：
最大負荷時：2.7 W（赤外線LEDオンの状態で動作したとき）
通常モード：1.1 W（赤外線LEDオフの状態で動作したとき）

受信機
LCD：2.3型(5.8 cm)カラー
解像度：320 ×240画素
電源電圧：ACアダプター（DC IN 5V端子）AC 120 V, 60 Hz
内蔵電池：
最大充電電圧：4.25 V
最大充電電流：1,400 mA
音声出力：
90 mW
スピーカー：直径28 mm, 8 Ω
外形寸法：
スタンドを閉じた状態
約68 mm × 166.1 mm × 33 mm（幅/高さ/奥行き）突起部とアンテナを含む
スタンドを開いた状態
約68 mm × 159.4 mm × 61.7 mm（幅/高さ/奥行き）突起部とアンテナを含む
重量：約136 g
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
消費電力：
最大負荷時：3.5 W
通常モード*：1.7 W
* 画面常時オン、音量レベル中、Voice Activation（ボイスアクティベーション）機能オフの状態で動作したとき。

ACアダプター：
定格入力：AC 100 V ～ 240 V 50 Hz/60 Hz 0.15 A
定格出力：DC 5 V/1 A
外形寸法：約65.3 mm ×25.4 mm ×33 mm
質量：約60 g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名：NTM-V1
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、ビデオベビーモニターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

本機を廃棄するときのご注意
本機に内蔵されている充電池式電池はリサイクルできます。この充電池式電池の取りはずしはお客様ご自身では行わず、ソニーの相談窓口（下記）にご相談ください。
Li-ion

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる
ビデオベビーモニターに関する最新のサポート情報はこちらのホームページから
http://www.sony.jp/support/baby-monitor/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

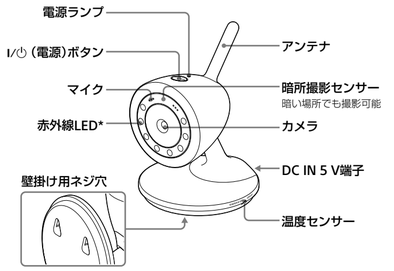
FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。
詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
パソコンから
http://msc.sony.jp/bmonitor-regi/
携帯電話から
http://reg.msc.m.sony.jp/bmonitor/
QRコードでアクセス
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください

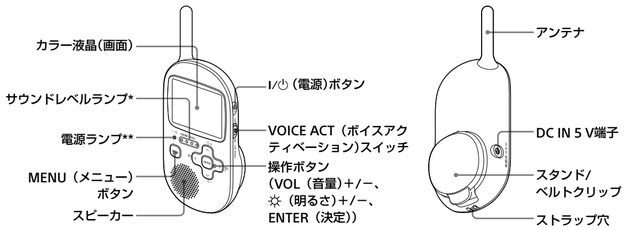
「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

カメラ(送信機)



＊ 撮影場所が暗いと自動でオンになります。手動でオン/オフすることはできません。

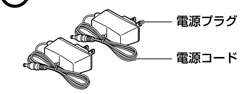
受信機



＊ カメラのマイクが検出した音量に応じて赤いランプが点灯します(1つ(弱) ～ 4つ(強))
＊＊消灯：電源切
緑：電源入
オレンジ：電源切状態で充電中

A

ⓐ

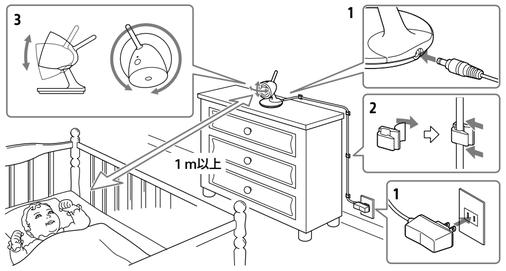


ⓑ

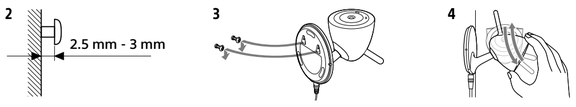
ヒント
- 2つのACアダプターは、同じものです。カメラと受信機のどちらにでも使えます。

B

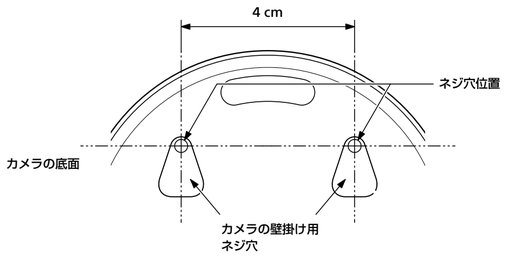
ⓐ



ⓑ

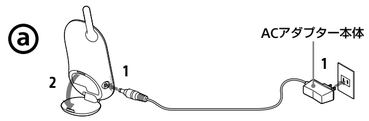


型紙 この型紙は、カメラを壁に取り付けるときに使用します。

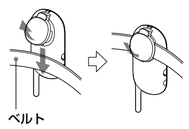


C

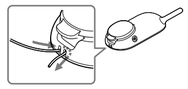
ⓐ



ⓑ

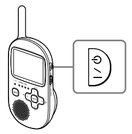


ⓒ



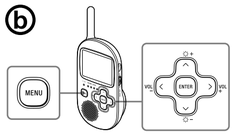
D

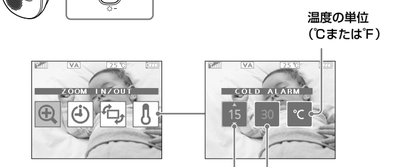
ⓐ



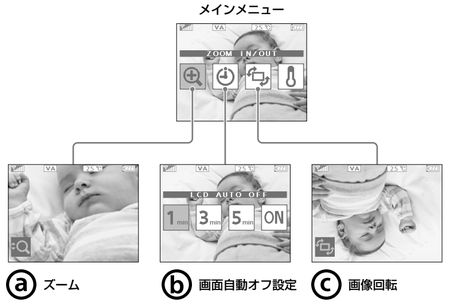
画面

ⓑ





E



設置する

同梱物一覧(A図参照)

カメラ(1)
受信機(1)
ACアダプター（2）ⓐ
コードクリップ(4) ⓑ
保証書
取扱説明書(本書)

カメラ(B-ⓐ図参照)

お子様の手の届かないところ(1 m以上推奨)に設置してください。

1. **付属のACアダプターをカメラのDC IN 5V端子と壁のコンセントにつなぐ。**
2. **付属のコードクリップで電源コードを壁に固定する。**
3. **撮影したい場所に向くように、カメラの角度を調節する。**

ご注意
- カメラの回転角度には制限があります。「カチッ」と止まったところ以上は回転させないでください。
- カメラや電源コードをお子様の手の届く範囲に置かないでください。
- ベビーベッドやベビーサークルに、カメラを取り付けたり、電源コードを中に這わしたりしないでください。
- ACアダプターに延長コードを使わないでください。付属されているACアダプターのみをお使いください。
- カメラを何かで覆ったり、お子様との間に物を置いたりすると、画像や音声が撮れなくなりますのでご注意ください。
- 使用中はアンテナを他のものに接触させないでください。

カメラを壁に取り付ける(B-ⓑ図参照)

準備
ネジは、付属していません。カメラ底面の壁かけ用ネジ穴に合う市販のネジ(ネジ径3.5 mm ～ 4.1 mm ネジ長さ20 mm以上の丸木ネジ)を2本ご用意ください。

1. **本紙左下の型紙を参考にして、壁にネジの穴を2か所開ける。**
2. **壁に市販のネジをとめる。**
   B-ⓑ2図のように、ネジが壁から2.5 mmから3 mm、突き出した状態で壁に固定します。
3. **ネジにカメラを取り付ける。**
4. **手でカメラの向きを調整する。**

ご注意
- カメラの回転角度には制限があります。「カチッ」と止まったところ以上は回転させないでください。
- 壁掛けの場合は、壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。ネジはしっかりと固定してください。
- 電源コードをカメラに接続してから壁にかけ、その後に電源プラグをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、壁などの強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 取り付けネジが緩んでカメラが落下しないようにしっかりネジを締めてください。

受信機(C-ⓐ図参照)

1. **付属のACアダプターを受信機のDC IN 5V端子と壁のコンセントにつなぐ。**
2. **スタンドを開き、受信機の角度を調節する。**

ご注意
- 濡れた手で触らないでください。
- 使用中はアンテナを他のものに接触させないでください。
- 安定した場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 安定した状態になるように角度を調整してください。倒しすぎると転倒するおそれがあります。

受信機を持ち運ぶ

持ち運ぶときは、受信機は内蔵バッテリーで動作します。画面にバッテリー残量が表示されます。

受信機をベルトに付ける(C-ⓑ図参照)

ご注意
- ベルトクリップをご使用の際は、落下しないよう取り扱いにご注意ください。

受信機にストラップを付ける(C-ⓒ図参照)

ご注意
- ストラップは付属していません。

内蔵バッテリーについて

バッテリーの持続時間のめやす

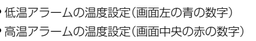
満充電後、約5時間
(画面常時オン、音量レベル中、Voice Activation（ボイスアクティベーション）機能オフの状態で動作したとき)

充電時間のめやす

バッテリーを使い切ってから満充電までは、約4時間30分かかります(温度25 ℃の環境下で充電した場合)。ただし、使用状況や環境によっては、さらに長くかかります。

バッテリー残量を確認する

画面右上にバッテリー残量を示すアイコンが表示されます。



ご注意
- バッテリーの残量がない状態で保管すると、充電池の寿命に影響をおよぼすことがあります。バッテリーの残量がない場合、すみやかにACアダプターに接続して充電してください
- 本機を長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、半年に1回程度は満充電してください。

操作する

表示言語について
本機の表示は英語です。その他の言語(日本語も含む)には変更できません。

電源を入れる(D-ⓐ図参照)

1. **カメラの I/⏻（電源）ボタンを、電源ランプが緑色になるまで押したままにする。**
2. **受信機の I/⏻（電源）ボタンを、電源ランプが緑色になるまで押したままにする。**
   受信機にカメラからの画像が表示されます。また、スピーカーから音声が流れてきます。

ヒント
- カメラのマイクが検出した音量に応じて、受信機のサウンドレベルランプ(最大で4個)が赤く点灯します。
- 画面左上に、電波強度を示す信号レベルが表示されます。

通信範囲外になると、警告音が鳴ります。

電源を切る

電源ランプが消えるまで、I/⏻（電源）ボタンを押したままにする。

温度アラームを設定する(D-ⓑ図参照)

設定した範囲を超えると警告音が鳴ります。

ご注意
- 一定時間操作がない場合は、通常画面に戻ります。

1. **MENUを押す。**
2. **</> ボタンで画面の[🌡]を選び、ENTERを押す。**
3. **</> ボタンで設定したい項目を選ぶ。**
   温度を設定する前に℉または℃を設定してください。
   - 低温アラームの温度設定(画面左の青の数字)
   - 高温アラームの温度設定(画面中央の赤の数字)
   - 温度の単位(℃または℉)(画面右の白い文字)
4. **∧/∨ ボタンでそれぞれの項目を設定する。**
5. **すべての設定が終わったら、ENTERを押す。**
6. **MENUを押す。**

ヒント
- 設定可能な温度は、0 ℃～ 40 ℃（32 ℉～ 104 ℉)です。

ご注意
- 設定された温度になると警告音が鳴りますが、その温度とカメラを設置した場所の実際の温度との間に差が生じる可能性があります。余裕を持った値を設定してください。

その他の設定をする

音量を調節する

受信機のスピーカー音量を上げるときはVOL+ボタン、下げるときはVOL-ボタンを押します。

ご注意
- 一定時間操作がない場合は、通常画面に戻ります。
- メニューの機能を設定している間は、音量の調節はできません。

明るさを調整する

画面を明るくするときは☼ +ボタン、暗くするときは☼ −ボタンを押します。

ご注意
- メニューの機能を設定している間は、明るさの調節はできません。

Voice Activation（ボイスアクティベーション)機能を使う

Voice Activation（ボイスアクティベーション)機能とは、一定の音量以上の音が検出されたときのみ、自動でスピーカーから音が出る機能です。
この機能をONにすると、カメラの周囲が静かなときは、雑音を拾いません。

VOICE ACT（ボイスアクティベーション)スイッチをONにする。
画面上部に[VA]が表示されます。(D-ⓐ図参照)

メニュー機能を使う

ご注意
- 一定時間操作がない場合は、通常画面に戻ります。

ズームする(E-ⓐ図参照)

ズームイン(デジタル2倍ズーム)設定をします。

1. **MENUを押す。**
2. **</> ボタンで画面の[🔍]を選び、ENTERを押す。**
3. **∧/∨ ボタンでズームイン/アウトを切り換える。**
4. **ENTERを押す。**
5. **MENUを押す。**

自動的に画面を消す(E-ⓑ図参照)

設定した時間(1，3，5分間)操作がないと、自動的に画面が消えるように設定できます。自動的に画面が消えないようにするときは[ON]を選びます。

1. **MENUを押す。**
2. **</> ボタンで画面の[⏻]を選び、ENTERを押す。**
3. **</> ボタンで希望の時間を選ぶ。**
4. **ENTERを押す。**
5. **MENUを押す。**

ヒント
- 画面が消えている状態から表示するには、受信機本体の電源ボタン以外のボタンを押します。
- Voice Activation（ボイスアクティベーション)機能がONのときは、一定の音量以上の音が検出された場合、スピーカーから音が聞こえるようになると同時に、画面が自動的に表示されます。

画像を回転する(E-ⓒ図参照)

設置する条件によって、見やすいように画像を180度回転できます。

1. **MENUを押す。**
2. **</> ボタンで画面の[🔄]を選び、ENTERを押す。**
3. **∧/∨ ボタンで0度回転または180度回転を選ぶ。**
4. **ENTERを押す。**
5. **MENUを押す。**

警告音について

下記の場合に、警告音が鳴り、警告表示が出ます。(画面が消えている場合は、受信機のボタンを押し、画面表示が出るようにすると、警告内容を確認できます。)警告に合わせて対処してください。

- 受信機が通信範囲の外に出た場合：
  - 警告音が1秒間に4回鳴ります。
  - サウンドレベルランプが点滅します。
  - 画面に「LOST CONNECTION」(通信圏外)と表示されます。
  - ➡カメラに受信機を近づけてください。
- カメラを置いてある部屋の温度が設定範囲外になった場合：
  - 警告音が1秒間に3回鳴ります。
  - 低温アラームの設定温度よりも寒いとき：画面の温度表示が青色になり、点滅します。また、画面に「COLD ALARM」(低温アラーム)と表示されます。
  - 高温アラームの設定温度よりも暑いとき：画面の温度表示が赤色になり、点滅します。また、画面に「HOT ALARM」(高温アラーム)と表示されます。
  - ➡部屋の温度を確認してください。
- 受信機の内蔵バッテリーが消耗している場合：
  - バッテリー残量が少なくなると、警告音が１秒間に３回鳴り始めます。画面の[🔋]が赤になり、「LOW BATTERY」(電池残量わずか)と表示されます。そのまま使い続けると、数分後に[🔋]が点滅し、警告音が数秒間鳴り続けて、自動的に電源が切れます。
  - ➡受信機をACアダプターに接続してください。

警告音が鳴る原因が取り除かれると、警告音は自動的に止まります。

手動で警告音を止めるには

I/⏻（電源）ボタンを押して電源を切ってください。

ご注意
- 警告音量の調整はできません。
- 警告音が鳴らないようにする設定はありません。
- 画面に他のメッセージが表示されているときは、警告表示は表示されません。